

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成28年4月27日(水曜日)	開 議 閉 議	午前10時00分 午前10時33分
出席委員	石野 山本 三上 奥野 田中 竹田 木曾 (堤委員 欠席) 委員外議員 小松議員		
執行機関 出席者			
事務局	門事務局長、山内事務局次長		
傍聴	可	市民 0名 報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 日程説明

3 案件

(1) 行政視察について

<石野委員長>

事務局により、行政視察の概要を説明願う。

(事務局次長より、行程表等に基づき行政視察の概要を説明)

<石野委員長>

行政視察までに、各自で視察項目の事前調査をよろしく願う。

ここで、行政視察当日の質問事項等あれば出していただきたい。

<木曾委員>

妙高市に係る行政視察資料の中で、小学校の読み方について、当日までに調べておいてもらいたい。

<事務局次長>

調べさせていただく。

<木曾委員>

妙高市では、特に、小規模特認校の関係で、いきなり合併ということはされていないと思うので、小規模校のこれまでの経過について説明をしていただきたい。

<山本副委員長>

妙高市のコミュニティ・スクール事業に関して、例えば、福岡県の春日市では、防犯面で補導される者が年間1000人ほどあり、地域の方の力を借りてパトロールを強化されたという事例もある。他に、東京都三鷹市では、子どもの学力が低下しているということで、地域の方に学力向上の支援をしていただいている事例などもあり、学校の課題を地域の方の力を借りて克服していくということであったが、妙高市ではどういう形でコミュニティ・スクール事業の取り組みを進められているのか、具体的

な取り組みに至った経過を聞いていきたい。

亀岡市では、学校支援地域本部を使って、地域の方の力を借りられており、その発展形がコミュニティ・スクールになっていると思うが、妙高市でも同様のことが言えるのか、コミュニティ・スクールの必要性があったのか等、具体的に聞いていきたい。

<木曾委員>

長岡市では、災害が起こった時のボランティアの受入れに際し、その受入れ体制づくりで苦労した点などを聞いていきたい。

また、熊本地震の際にもそうであったが、第1次避難所が壊滅的な被害を受けて、避難場所が分散した場合に、どの様にそれを掌握して物資がきちりと届くようにしていくのか等について聞いていきたい。特に、亀岡でもそうだが、交通が遮断された時に物資の配達が大変なことになると思うので、そのあたりのことについても聞いていきたい。

<田中委員>

妙高市における学校規模適正化に関して、統廃合に対する基本的な考え方を聞いていきたい。

4 その他

(1) 次回の日程について

5月25日(水)午前10時から
行政視察の総括について

<石野委員長>

他になければ、これで総務文教常任委員会を閉議する。

10:33 閉議